

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 7 日 (2021.10.7)

【公表番号】特表 2020-533443 (P2020-533443A)

【公表日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)

【年通号数】公開・登録公報 2020-047

【出願番号】特願 2020-513645 (P2020-513645)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/79 (2006.01)

C 0 8 G 18/10 (2006.01)

C 0 8 G 18/28 (2006.01)

C 0 8 G 18/42 (2006.01)

C 0 8 G 18/48 (2006.01)

C 0 8 G 18/73 (2006.01)

C 0 9 D 175/02 (2006.01)

C 0 9 J 175/02 (2006.01)

C 0 9 J 5/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 18/79 0 8 0

C 0 8 G 18/10

C 0 8 G 18/28 0 1 5

C 0 8 G 18/42

C 0 8 G 18/48

C 0 8 G 18/73

C 0 9 D 175/02

C 0 9 J 175/02

C 0 9 J 5/00

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 19 日 (2021.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

重合性組成物の反応生成物を含むポリマー材料であって、前記重合性組成物が、

a. それ自体と反応したジイソシアネートの反応生成物を含むウレトジオン含有材料と

、

b. 第一級アルコール又は第二級アルコールである、単一の OH 基を有する第 1 のヒドロキシル含有化合物と、

c. ジオールである、1 つを超える OH 基を有する第 2 のヒドロキシル含有化合物とを含み、前記反応生成物が、0.2 ~ 0.5 (両端を含む) の、イソシアネート当量に対するジオール当量を含み、

前記ポリマー材料が、90 % 以上の固形分含有率を含み、

前記ポリマー材料が、ブルックフィールド粘度計を使用して決定される、10 ポアズ (P) ~ 10,000 P (両端を含む) の動的粘度を有する、ポリマー材料。

【請求項 2】

前記ポリマー材料の主鎖中に、平均 1.3 ~ 2.5 (両端を含む) のウレトジオン官能基を含む、請求項 1 に記載のポリマー材料。

【請求項 3】

イソシアネートを本質的に含まない、請求項 1 又は 2 に記載のポリマー材料。

【請求項 4】

前記ジイソシアネートが、ヘキサメチレンジイソシアネートを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のポリマー材料。

【請求項 5】

a. 重合性組成物の反応生成物を含むポリマー材料を含む第 1 の部分であって、前記重合性組成物が、

i. それ自体と反応したジイソシアネートの反応生成物を含むウレトジオン含有材料

、
ii. 第一級アルコール又は第二級アルコールである、単一の OH 基を有する第 1 のヒドロキシル含有化合物、及び

iii. 1 つを超える OH 基を有する第 2 のヒドロキシル含有化合物

を含み、前記ポリマー材料が、前記ポリマー材料の主鎖中に、平均 1.3 ~ 2.5 (両端を含む) のウレトジオン官能基を含み、前記ポリマー材料が、90%以上の固形分含有率を含む、第 1 の部分と、

b. 少なくとも 1 つのアミンを含む第 2 の部分であって、前記少なくとも 1 つのアミンが 2.0 以上の平均アミン官能価を有し、各アミンが第一級アミン又は第二級アミンである、第 2 の部分と

を含む、2 成分組成物。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つのアミンが、1 モル当たり 2,000 g 以下の分子量を有する、請求項 5 に記載の 2 成分組成物。

【請求項 7】

請求項 5 又は 6 に記載の 2 成分組成物の、重合生成物。

【請求項 8】

基材の少なくとも一部をコーティングする、請求項 7 に記載の重合生成物。

【請求項 9】

2 つの基材の間に配置される、請求項 7 又は 8 に記載の重合生成物。

【請求項 10】

2 つの基材を一緒に接着する方法であって、

a. 2 成分組成物を得ることであって、前記 2 成分組成物が、

i. 重合性組成物の反応生成物を含むポリマー材料を含む第 1 の部分であり、前記重合性組成物が、

1. それ自体と反応したジイソシアネートの反応生成物を含むウレトジオン含有材料、

2. 第一級アルコール又は第二級アルコールである、単一の OH 基を有する第 1 のヒドロキシル含有化合物、及び

3. 1 つを超える OH 基を有する第 2 のヒドロキシル含有化合物

を含み、前記ポリマー材料が、前記ポリマー材料の主鎖中に、平均 1.3 ~ 2.5 (両端を含む) のウレトジオン官能基を含み、前記ポリマー材料が、90%以上の固形分含有率を含む、第 1 の部分、並びに

ii. 少なくとも 1 つのアミンを含む第 2 の部分であり、前記少なくとも 1 つのアミンが 2.0 以上の平均アミン官能価を有し、各アミンが第一級アミン又は第二級アミンである、第 2 の部分

を含む、得ることと、

b. 前記第 1 の部分の少なくとも一部を、前記第 2 の部分の少なくとも一部と合わせて

混合物を形成することと、

c. 前記混合物の少なくとも一部を、第1の基材の第1の主面上に配置することと、

d. 第2の基材の第1の主面を、前記第1の基材上に配置された前記混合物と接触させることと

を含む、方法。

【請求項11】

前記接着剤が、0.3メガパスカル(MPa)の、アルミニウム上の最小重ね剪断を呈する、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

2成分組成物を製造する方法であって、

a. 重合性組成物の反応生成物を含むポリマー材料を形成することにより第1の部分を提供することであって、前記重合性組成物が、

i. それ自体と反応したジイソシアネートの反応生成物を含むウレトジオン含有材料

、

ii. 第一級アルコール又は第二級アルコールである、単一のOH基を有する第1のヒドロキシル含有化合物、及び

iii. 1つを超えるOH基を有する第2のヒドロキシル含有化合物

を含み、前記ポリマー材料が、前記ポリマー材料の主鎖中に、平均1.3~2.5(両端を含む)のウレトジオン官能基を含み、前記ポリマー材料が、90%以上の固形分含有率を含む、第1の部分を提供することと、

b. 少なくとも1つのアミンを含む第2の部分を提供することであって、前記少なくとも1つのアミンが2.0以上の平均アミン官能価を有し、各アミンが第一級アミン又は第二級アミンである、第2の部分を提供することと

を含む、方法。